下松市土木系工事における「週休2日工事」の実施要領

1. 趣旨

持続可能な建設産業を構築するためには、建設産業従事者の就労環境を改善することが重要であり、中でも建設現場における休日の確保は、若者や女性を始めとする担い手の確保と育成を図る上で、喫緊の課題となっている。

このため、建設産業における「週休2日」の実現に向け、本要領に、週休2日の確保に取り組む工事(以下「週休2日工事」という。)の実施方法等を定める。

2. 用語の定義

2.1 「週休2日工事」(現場閉所型)

- (1)「週休2日工事(現場閉所型)・通期」とは、対象期間において、4週8休以上の現場閉所を 行ったと認められる状態をいう。
- (2)「週休2日工事(現場閉所型)・月単位」とは、対象期間内でさらに連続する全ての4週間(2 8日)において、4週8休以上の現場閉所を行ったと認められる状態をいう。
- (3)「対象期間」とは、現場作業着手日から現場作業完了日までの期間をいう。なお、年末年始6日間、夏季休暇3日間、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間のほか、発注者があらかじめ対象外としている内容に該当する期間(受注者の責によらず現場作業を余儀なくされる期間など)は含まない。
- (4)「現場閉所」とは、巡回パトロールや保守点検等、現場管理上必要な作業を行う場合を除き、 現場事務所での事務作業を含めて1日を通して現場や現場事務所が閉所された状態をいう。
- (5)「4週8休以上」とは、現場閉所日数の割合(以下、「現場閉所率」という。)が、28.5%(8日/28日)の水準以上に達する状態をいう。なお、降雨、降雪等による予定外の現場閉所日についても、現場閉所日数に含めるものとする。

2.2「週休2日工事」(交替制)

- (1)「週休2日工事(交替制)・通期」とは、対象期間において、技術者及び技能労働者が交替しな がら4週8休以上の休日を確保する取組をいう。
- (2)「週休2日工事(交替制)・月単位」とは、対象期間内でさらに連続する全ての4週間(28日)において、技術者及び技能労働者が交替しながら4週8休以上の休日を確保する取組をいう。
- (3)「対象期間」とは、現場作業着手日から現場作業完了日までの期間をいう。なお、年末年始6日間、夏季休暇3日間、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間のほか、発注者があらかじめ対象外としている内容に該当する期間(受注者の責によらず現場作業を余儀なくされる期間など)は含まない。

また、下請企業については施工体制台帳上の工期^{※1}を基本とする。

- ※1 施工体制台帳上の工期のうち実働期間が分散している場合には、受発注者協議で対象期間を設定するものとする。
- (4)「4週8休以上」とは、現場に従事した技術者及び技能労働者の平均休日日数の割合(以下、「休日率」という。)が、28.5%(8日/28日)の水準以上に達する状態をいう。なお、降雨、

降雪等による予定外の休日についても、休日日数に含めるものとする。

3. 対象工事

現場作業を行う期間が1週間以上の工事のうち、市が「週休2日工事」として指定する工事(営 <u>椿を除く</u>)を対象とする。(「週休2日工事(交替制)」の場合は、「現場作業を行う期間」を、「技 術者及び技能労働者が従事する期間」に読み替える。)

4. 発注方式

(1) 発注者指定型「週休2日工事(現場閉所型)」として発注する。 また、現場閉所が馴染まない工事は、発注者指定型「週休2日工事(交替制)」として発注する。

<現場閉所が馴染まない工事の例>

- ・緊急性が高い工事や通年維持工事等で休日(土日、祝日、年末年始休暇、夏季休暇)に作業 が必要な工事
- ・連続施工せざるを得ない工事
- ・社会的要請により早期完成が望まれる工事
- (2) 現場作業着手前に限り、受注者が発注者に協議したうえで、週休2日工事(現場閉所型)は 週休2日工事(交替制)に、週休2日工事(交替制)は週休2日工事(現場閉所型)にそれぞ れ変更することができる。
- (3) 週休2日工事(現場閉所型・交替制)のいずれも困難な工事は、例外的に週休2日工事の対象としないことができる。

<週休2日工事の対象外の例>

・災害復旧工事のうち、応急復旧工事(緊急随契を行うような工事)

5. 発注方法

- (1) 発注者は、週休2日工事の発注にあたって、入札公告<mark>又は現場説明書</mark>に発注方式(週休2日 工事(現場閉所型)、週休2日工事(交代制)のいずれか)を、施工条件書に<mark>週休2日工事の</mark>適 用について明示(別紙1参照)する。
- (2) 工期の設定にあたっては、「土木工事における適正な工期設定の考え方(山口県土木建築部)」によるものとする。

6. 実施方法

- (1) 受注者は、契約後速やかに、発注者と、週休2日工事の内容として、通期もしくは月単位の どちらを実施するか協議するとともに、「工期設定支援システム(山口県版)【別紙2】」を活用 する等しながら、必要工期について受発注者間で確認を行う。なお、受注者は、発注者が示し た工期を延伸したい場合には、計画工程表を発注者へ提出すること。
- (2)発注者は、(1)により工期の延伸が必要と認められる場合は、速やかに工期延伸に係る契約変更を行うものとする。

また、受注者は、契約後の発注者との協議により決定した「週休2日工事」の実施内容を確 実に履行するものとする。ただし、着手後に履行できないことが判明した場合には、速やかに 発注者と協議すること。 なお、工事着手後に、工程の変更理由が以下の(ア)~(オ)に示すような受注者の責によ らない理由により、工期の延伸が必要となった場合は、適切に工期の変更を行う。

- (ア) 受発注者間で協議した工事工程の条件に変更が生じた場合
- (イ) 著しい悪天候により作業不稼働日が多く発生した場合
- (ウ) 工事中止や工事一部中止により全体工程に影響が生じた場合
- (エ) 資機材や労働需要のひっ迫により、全体工程に影響が生じた場合
- (オ) その他特別な事情により全体工程に影響が生じた場合

7. 「週休2日」の確認方法

(1) 週休2日工事(現場閉所型)

- (ア) 災害時等の緊急対応及び品質管理・安全管理等のため、現場閉所を計画していた日(休工日)に現場作業を行う場合は、原則、当該週において休工日を振替できるものとする。
- (イ) 受注者は、工事完了後、現場閉所の状況を確認できる実施工程表(別紙4参照)を監督職員に提出する。ただし、同等の内容が確認できる資料であれば指定様式以外でも良い。期間は、現場作業着手日から現場作業完了日までとする。

なお、出面表等の根拠資料は提出不要であるが、監督職員や検査職員が請求した場合は、これを提示すること。

(2) 週休2日工事(交替制)

(ア)受注者は、工事完了後、技術者や技能労働者の勤務状況が確認できる実施工程表(別紙4参照)を監督職員に提出する。ただし、同等の内容が確認できる資料であれば指定様式以外でも良い。期間は、技術者及び技能労働者が従事した期間とする。

なお、出面表等の根拠資料は提出不要であるが、監督職員や検査職員が請求した場合は、これを提示すること。

8. 経費の補正方法

(1) 週休2日工事(現場閉所型)

発注時は、通期の補正係数を各経費に乗じたうえで予定価格を設定するものとする。

受注者が月単位を実施するとした場合において、これの達成が確認された場合に、月単位の 補正係数を各経費に乗じたうえで契約変更を行う。ただし、農林水産省所管事業については、 月単位の補正はしないこととする。

なお、4週8休に満たないものは補正しないこととし、補正分を減額する契約変更を行う。

(2) 週休2日工事(交替制)

発注時は、通期の補正係数を各経費に乗じたうえで予定価格を設定するものとする。 受注者が月単位を実施するとした場合において、これの達成が確認された場合に、月単位の 補正係数を各経費に乗じたうえで契約変更を行う。ただし、農林水産省所管事業については、 月単位の補正はしないこととする。

なお、4週8休に満たないものは補正しないこととし、補正分を減額する契約変更を行う。

(3) 共通事項

補正係数は別紙のとおり。

9. その他

提出資料への虚偽の記載等が工事中又は工事完了後に判明した際には、不誠実な行為として 取り扱う場合がある。

10.工事標示板

週休2日工事の受注者は、週休2日に取り組んでいることを、工事標示板に明記するものとする。(別紙5参照)

附則

この要領は、令和2年5月15日以降に入札公告又は指名通知する工事から施行する。 附 則

この要領は、令和5年4月1日以降に入札公告又は指名通知する工事から施行する。 附 則

この要領は、令和5年12月1日以降に入札公告又は指名通知する工事から施行する。 附 則

この要領は、令和6年7月1日以降に入札公告又は指名通知する工事から施行する。 附 則

この要領は、令和6年10月1日以降に入札公告又は指名通知する工事から施行する。

【土木工事】、【機械設備工事】懇談

別紙 (1/2)

<補正係数(週休2日工事(現場閉所型)・通期)>

それぞれの経費に以下の補正係数を乗じる。なお、市場単価方式・土木工事標準単価については、 |別表||に示す補正係数を乗じるものとする。

- 1) 4週8休以上(現場閉所率28.5%(8日/28日)以上)
 - 労務費
- 1. 02
- ·機械経費(賃料) 1. 02
- · 共通仮設費率 1.02
- ·現場管理費率 1.03
- <補正係数(週休2日工事(現場閉所型)・月単位)>

それぞれの経費に以下の補正係数を乗じる。なお、市場単価方式・土木工事標準単価については、 別表に示す補正係数を乗じるものとする。

- 1) 4週8休以上(現場閉所率28.5%(8日/28日)以上)
 - 労務費
- 1. 04
- ·機械経費(賃料) 1.02
- · 共通仮設費率 1.03
- ·現場管理費率 1.05
- <補正係数(週休2日工事(交替制)・通期>

技術者及び技能労働者の休日率に応じて、それぞれの経費に補正係数を乗じる。なお、市場単価 方式・土木工事標準単価については、別表に示す補正係数を乗じるものとする。

- 1) 4週8休以上(休日率28.5%(8日/28日)以上)
 - ・労務費
- 1. 0 2
- ·現場管理費率 1.01
- <補正係数(週休2日工事(交替制)・月単位>

技術者及び技能労働者の休日率に応じて、それぞれの経費に補正係数を乗じる。なお、市場単価 方式・土木工事標準単価については、別表に示す補正係数を乗じるものとする。

- 1) 4週8休以上(休日率28.5%(8日/28日)以上)
 - 労務費
- 1. 04
- ·現場管理費率 1.03

【農林水産省所管事業】

<補正係数(週休2日工事(現場閉所型)・通期)>

それぞれの経費に以下の補正係数を乗じる。なお、市場単価方式・土木工事標準単価については、 別表4及び5に示す補正係数を乗じるものとする。

治山林道工事については、括弧書きの補正係数を適用する。

- 1) 4週8休以上(現場閉所率28.5%(8日/28日)以上)
 - 労務費
- 1.02(1.05)
- ・機械経費(賃料) 1.02 (1.04)
- · 共通仮設費率 1.02 (1.04)
- ・現場管理費率 1.05 (1.06)

<補正係数(週休2日工事(交替制)・通期)>

技術者及び技能労働者の休日率に応じて、それぞれの経費に以下の補正係数を乗じる。なお、市場単価方式・土木工事標準単価については、別表4及び5に示す補正係数を乗じるものとする。

治山林道工事については、括弧書きの補正係数を適用する。

- 2) 4週8休以上(休日率28.5%(8日/28日)以上)
 - ・労務費 1.02(1.05)
 - ・現場管理費率 1.01 (1.03)
- (注1)補助事業等で補正係数の適用等に疑義がある場合は、当該補助事業の所管省庁に確認を行い適用 すること。
- (注2)適用する積算基準により補正する経費対象が異なる場合 積算基準が異なる複数工種区分を有する工事については、主たる工種の間接工事費率を適用する。

市場単価方式による週休2日の取得に要する費用の計上に関する補正係数

			補正	係数	
名称	区分	現場	閉所	交	替制
		通期	月単位	通期	月単位
鉄筋工		1. 02	1. 04	1. 02	1. 04
ガス圧接工		1. 02	1. 03	1. 02	1. 03
インターロッキングフロックエ	設置	1. 01	1. 01	1. 01	1. 01
407 by	撤去	1. 02	1. 04	1. 02	1. 04
防護柵設置工(ガードレール)	設置	1. 00	1. 01	1.00	1. 01
別疫1順放色工(ガートレール)	撤去	1. 02	1. 04	1. 02	1. 04
防護柵設置工(ガードパイプ)	設置	1. 00	1. 01	1.00	1. 01
	撤去	1. 02	1. 04	1. 02	1. 04
防護柵設置工(横断・転落防止柵)	設置	1. 02	1. 04	1. 02	1. 04
例接恤改巨工(换例·松洛例工物)	撤去	1. 02	1. 04	1. 02	1. 04
防護柵設置工(落石防護柵)		1. 01	1. 01	1. 01	1. 01
防護柵設置工(落石防止網)		1. 01	1. 02	1. 01	1. 02
> ★ 収 + 亜 亜 = ル 架 〒	設置	1.00	1. 01	1.00	1. 00
道路標識設置工	撤去・移設	1. 02	1. 03	1. 01	1. 03
*	設置	1. 01	1. 01	1. 01	1. 01
道路付属物設置工	撤去	1. 02	1. 04	1. 02	1. 04
法面工		1. 01	1. 02	1. 01	1. 02
吹付枠工		1. 01	1. 03	1. 01	1. 03
鉄筋挿入工(ロックボルト工)		1. 02	1. 03	1. 01	1. 03
`** ID += +1: -	植樹	1. 02	1. 04	1. 02	1. 04
道路植栽工	剪定	1. 02	1. 04	1. 02	1. 04
公園植栽工		1. 02	1. 04	1. 02	1. 04
橋梁用伸縮継手装置設置工		1. 01	1. 02	1. 01	1. 02
橋梁用埋設型伸縮継手装置設置工		1. 02	1. 04	1. 02	1. 04
橋面防水工		1. 01	1. 01	1. 01	1. 01
薄層カラー舗装工		1.00	1. 01	1.00	1. 01
グルービングエ		1.00	1. 01	1. 00	1. 01
軟弱地盤処理工		1. 01	1. 02	1. 01	1. 02
コンクリート表面処理工(ウォータージェット		1. 01	1. 01	1. 01	1. 01

土木工事標準単価による週休2日の取得に要する費用の計上に関する補正係数

			補正	係数	
名称	区分	現場	閉所	交	彗制
		通期	月単位	通期	月単位
区画線工		1. 02	1. 04	1. 02	1. 04
高視認性区画線工		1. 02	1. 04	1. 02	1. 04
橋梁塗装工		1. 01	1. 03	1.01	1. 03
## '生 '# '	機械	1. 02	1. 03	1. 01	1. 03
構造物とりこわしエ	人力	1. 02	1. 04	1. 02	1. 04
コンクリートブロック積工		1. 02	1. 04	1. 02	1. 03
排水構造物工		1. 02	1. 04	1. 02	1. 03
鋼製排水溝設置工		1. 02	1. 04	1. 02	1. 04
まる 地東 アノーン カリー 1 / 原珠 冷壮)	固定足場	1. 01	1. 02	1. 01	1. 02
表面被覆工(コンクリート保護塗装)	高所作業車	1. 01	1. 02	1. 01	1. 02
まる合って	固定足場	1. 02	1. 04	1. 02	1. 04
表面含侵工	高所作業車	1. 02	1. 04	1. 02	1. 03
連続繊維シート補強工	固定足場	1. 02	1. 04	1. 02	1. 04
生物製作ンート補強工	高所作業車	1. 02	1. 04	1. 02	1. 03
剥落防止工(アラミドメッシュ)	固定足場	1. 02	1. 04	1. 02	1. 04
対格防止工 (アクミトグラクエ)	高所作業車	1. 02	1. 04	1. 02	1. 03
漏水対策材設置工	固定足場	1. 02	1. 04	1. 02	1. 04
·····································	高所作業車	1. 02	1. 04	1. 02	1. 03
防草シート設置エ		1. 01	1. 03	1. 01	1. 03
紫外線硬化型 FRP シート設置工(ポリエステル	固定足場	1. 01	1. 02	1. 01	1. 02
樹脂)	高所作業車	1. 01	1. 01	1. 01	1. 01
塗膜除去工		1. 02	1. 04	1. 02	1. 04
バキュームブラストエ		1. 01	1. 01	1. 00	1. 01
道路反射鏡設置工	設置	1.00	1. 01	1. 00	1. 01
但所次剂 蜕改 恒 上	撤去	1. 02	1. 04	1. 02	1. 04
仮設保護柵設置工 (仮設ガードレール)		1. 02	1. 04	1. 02	1. 04
機械式継手工		1. 02	1. 04	1. 02	1. 04
抵抗板付鋼製杭基礎工		1. 02	1. 03	1. 01	1. 02
ノンコーキング式コンクリートひび割れ誘発目		1. 01	1. 01	1. 01	1. 01
地設置工		1. 01	1. 01	1.01	1.01
FRP 製格子状パネル設置工		1. 00	1. 00	1. 00	1.00
侵食防止用植生マットエ(養生マットエ)		1. 02	1. 04	1. 02	1. 04

支承金属溶射工	1. 02	1. 04	1. 02	1. 04
耐圧ポリエチレンリブ管(ハウエル管)設置エ	1. 02	1. 03	1. 02	1. 03

別表(3/5

市場単価方式による週休2日の取得に要する費用の計上に関する補正係数(下水道工事)

			補正	係数				
名称	区分	現場	閉所	交替制				
		通期	月単位	通期	月単位			
硬質塩化ビニル管設置工		1. 01	1. 02	1. 01	1. 02			
リブ付硬質塩化ビニル管設置工		1. 01	1. 02	1. 01	1. 02			
砂基礎工	人力施工	1. 02	1. 04	1. 02	1. 04			
砂基礎工	機械施工	1. 02	1. 04	1. 02	1. 04			
砕石基礎工	人力施工	1. 02	1. 04	1. 02	1. 04			
砕石基礎工	機械施工	1. 02	1. 04	1. 02	1. 04			
組立マンホール設置エ		1. 02	1. 03	1. 01	1. 03			
小型マンホールエ		1. 00	1. 01	1. 00	1. 01			
取付管およびます設置工	ます設置工	1. 00	1. 01	1. 00	1. 01			
取付管およびます設置工	取付管布設及	1. 01	1. 02	1. 01	1. 02			
4X 15 15 16 10 10 10 10 10 10 10	び支管取付工	1.01	1.02	1.01	1.02			

別表 (4/5) 市場単価方式による週休2日の取得に要する費用の計上に関する補正係数(農林水産省所管事業)

		補正	係数
名称	区分	現場閉所	交替制
		通期	通期
鉄筋工		1. 02 (1. 05)	1. 02 (1. 05)
ガス圧接工		1.02 (1.04)	1. 02 (1. 04)
インターロッキングフロックエ	設置	1. 01 (1. 02)	1.01 (1.02)
1	撤去	1. 02 (1. 05)	1.02 (1.05)
防護柵設置工(ガードレール)	設置	1.00 (1.01)	1.00 (1.01)
別後棚設直工(ガードレール)	撤去	1.02 (1.05)	1.02 (1.05)
 防護柵設置工 (ガードパイプ)	設置	1.00 (1.01)	1.00 (1.01)
一切 一切 一切 一切 一切 一切 一切 一切	撤去	1.02 (1.05)	1.02 (1.05)
防護柵設置工(横断・転落防止柵)	設置	1.02 (1.04)	1.02 (1.04)
例。技术的	撤去	1. 02 (1. 05)	1.02 (1.05)
防護柵設置工(落石防護柵)		1. 01 (1. 02)	1.01 (1.02)
防護柵設置工(落石防止網)		1. 01 (1. 03)	1. 01 (1. 03)
>+ 04 1 = -40 = 0 = 0	設置	1.00 (1.01)	1.00 (1.01)
道路標識設置工	撤去・移設	1.02 (1.04)	1.01 (1.04)
`**	設置	1. 01 (1. 02)	1. 01 (1. 02)
道路付属物設置工	撤去	1. 02 (1. 05)	1. 02 (1. 05)
法面工		1. 01 (1. 02)	1. 01 (1. 02)
吹付枠工		1. 01 (1. 03)	1. 01 (1. 03)
鉄筋挿入工(ロックボルト工)		1. 02 (1. 03)	1.01 (1.03)
>* D4 1+ +1	植樹	1. 02 (1. 05)	1. 02 (1. 05)
道路植栽工 	剪定	1. 02 (1. 05)	1. 02 (1. 05)
公園植栽工		1. 02 (1. 05)	1. 02 (1. 05)
橋梁用伸縮継手装置設置工		1. 01 (1. 02)	1.01 (1.02)
橋梁用埋設型伸縮継手装置設置工		1. 02 (1. 04)	1. 02 (1. 04)
橋面防水工		1. 01 (1. 02)	1. 01 (1. 02)
薄層カラー舗装工		1.00 (1.01)	1.00 (1.01)
グルービングエ		1.00 (1.01)	1.00 (1.01)
軟弱地盤処理工		1. 01 (1. 02)	1. 01 (1. 02)
コンクリート表面処理工(ウォータージェット		1. 01 (1. 01)	1.01 (1.01)
工)		1.01 (1.01)	1.01 (1.01)

土木工事標準単価による週休2日の取得に要する費用の計上に関する補正係数(農林水産省所管事業)

		補正	係数
名称	区分	現場閉所	交替制
		通期	通期
区画線工		1. 02 (1. 05)	1. 02 (1. 05)
高視認性区画線工		1. 02	1. 02
橋梁塗装工		1. 01	1. 01
+# \# +\\ 1. 11	機械	1. 02 (1. 04)	1. 01 (1. 04)
構造物とりこわしエ	人力	1. 02 (1. 05)	1. 02 (1. 05)
コンクリートブロック積工		1. 02 (1. 05)	1. 02 (1. 04)
排水構造物工		1. 02 (1. 05)	1. 02 (1. 04)
鋼製排水溝設置工		1. 02	1. 02
= 素 + 素 + 元 + 元 + 元 + 元 + 元 + 元 + 元 + 元 +	固定足場	1. 01	1. 01
表面被覆工(コンクリート保護塗装) 	高所作業車	1. 01	1. 01
表面含侵工	固定足場	1. 02	1. 02
衣岨召使工 	高所作業車	1. 02	1. 02
連続繊維シート補強工	固定足場	1. 02	1. 02
注ができません 下田田工	高所作業車	1. 02	1. 02
 剥落防止エ(アラミドメッシュ)	固定足場	1. 02	1. 02
初冷防止工(アフミドグラフェ) 	高所作業車	1. 02	1. 02
│ ├漏水対策材設置工	固定足場	1. 02	1. 02
<i>加</i> 州小州东州 故 直 工	高所作業車	1. 02	1. 02
防草シート設置エ		1. 01	1. 01
紫外線硬化型 FRP シート設置工(ポリエステル	固定足場	1. 01	1. 01
樹脂)	高所作業車	1. 01	1. 01
塗膜除去工		1. 02	1. 02
バキュームブラストエ		1. 01	1.00
 道路反射鏡設置工	設置	1. 00	1. 00
(본배 (소기) 城((본 도	撤去	1. 02	1. 02
仮設保護柵設置工(仮設ガードレール)		1. 02	1. 02
機械式継手工		1. 02	1. 02
抵抗板付鋼製杭基礎工		1. 02	1. 01
ノンコーキング式コンクリートひび割れ誘発目		1. 01	1. 01
地設置工		1.01	1.01
FRP 製格子状パネル設置工		1. 00	1. 00

侵食防止用植生マットエ(養生マットエ)	1. 02	1. 02
支承金属溶射工	1.02	1. 02
耐圧ポリエチレンリブ管(ハウエル管)設置エ	1. 02	1. 02

第2号様式

現場説明書

工 事 名 ○○工事

工 場 所 下松市○○地内

工 期 着手の時期 契約締結日の翌日

> 完成の時期 令和 7年 1月 29日

札 保 免 除 入 証 金

契 約 保 証 必 要(契約金額の100分の10以上) 金

特例監理技術者 建設業法第26条第3項ただし書の規定の適用を受ける監理技術者(特例監

理技術者)の配置は、別途定める条件に適合した場合に認める

特別な定めのない事項については、下松市契約規則及び下松市工事請負 入札契約条項

規程による。

あり 前 払 金

中 間 前 払 金 あり

部 分 払 なし

札 条 等 別紙「入札条件および指示事項」のとおり 入 件

施 工 条 件 別紙「施工条件書」のとおり

建設リサイクル法 対象

工 事 内 容 設計図書のとおり

休 2 日 工 事 発注者指定型「週休2日工事(現場閉所型)」の対象工事 凋

土木課 「積算疑義申立て書」持参による提出窓口 工 事 担 当 課

契 約 担 当 課 土木課

工期設定支援システム(山口県版試行)利用手順

本システムは、<u>受注者から協議のあった必要工期について、発注者が妥当性を確認するため、</u> 使用するものであり、以下の手順によって工期の算定を行う。

【1】工事情報の入力について

工事情報欄の水色のセル (工事名、事業区分、工事区分、工期 (システム算定前)、直接工事費、雨休率)を入力する。

工事情報欄の黄色のセル(準備工日数、後片付け工日数、算定式による日数)は、自動入力される。

【2】工種、種別、細別、規格、単位、数量の入力について

積算システムで数量総括表をエクセル出力し、工種、種別、細別、規格、単位、数量をコピー &ペーストするなどの方法で入力する。

- (注1)「準備工」及び「後片付け工」の行は、編集しないこと。
- (注2) 行や列の追加や削除はしないこと。

【3】日当り作業量の入力について

設計標準歩掛表及び作業日当り標準作業量データを参考に、日当り作業量を入力する。

【1】 で入力した数量と日当り作業量から、標準作業日数及び雨休率考慮日数が自動計算される。

【4】雨休率について

工事情報欄に記載のある雨休率が表示される。

「準備工」及び「後片付け工」は、1.00を初期値とする。

【5】 班数の入力について

各工種のパーティー数を入力する。

【6】 クリティカルパスの入力について

各工種のクリティカルパス(施工順序)を入力する。ただし、別工程の工種は、 $A\sim Z$ を入力する。

【7】工期の算定及び判定について

【1】~【6】の入力が完了したら、工種を入力していない行の I 列の数式を削除 (#DIV/0!を取り除く) した後、[工期算定]ボタンをクリックすると、工期が自動で算定される。

工程表工期日数が、標準工期試算式による日数の-10%以上の工期日数であれば「-」、それ以外は「工期要確認」となる。

別工程の工種(A~Z)については、M列に任意の開始日を入力する。

【8】再算定について

- 【1】~【6】で入力した内容を修正する場合は、必ず[リセット]ボタンをクリックし、算定結果を削除した上で、内容を修正し、再度[工期算定]ボタンをクリックする。
- (注) [リセット]ボタンをクリックせずに再度[工期算定]ボタンをクリックすると、正しい工期が算定できません。

【9】不要行の取扱いについて

工種が入力されていない不要な行は、削除ではなく、非表示とする。

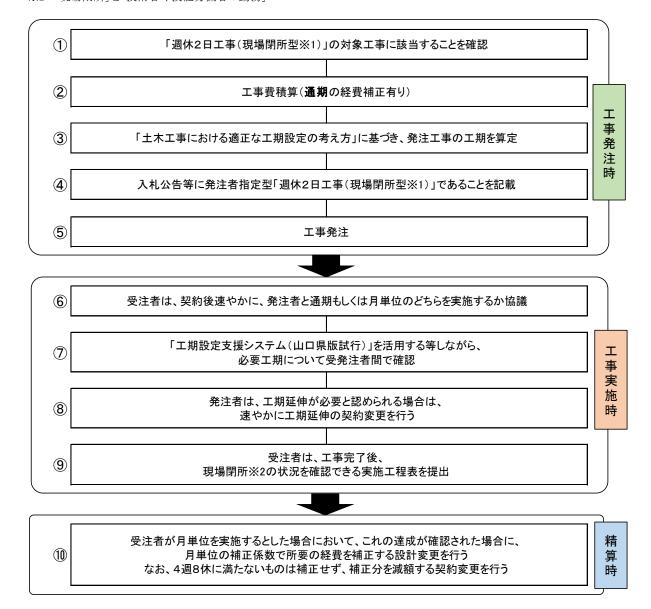
(注)業を削除すると、再算定できなくなる。

	工事名称	○○道路工事						工期設定支援シ	ステム下松市版	Ę.							【 另	川紙2】
	事業区分	道路新設·改築	直接工事費(円)		20,000,000	m	1										-/-	R0410
	工事区分	道路改良	進攻工手責(F7) 準備工(日数)	20,000,000円 40 日				工期算算	定		リセ	ツト						NO410
	工期自	進給以及 2022年5月6日	争端上(日数) 後片付け工(日数)			20日												
	工期 至	2022年1月30日	(東月刊71年(日敦) 南休率(係数)			1.80												
	工期日数(至-自)	209 日	算定式による日数			201 日												
	工程表工期日数	20 E	判定 >>>>		工期要確認		※工事抑制期間に	ついては、合計日敷をL3	79に入力してください。		LIB	HO BOX	間(L37	9)				
										1 438	18休(α							
								1班当り		雨休				д	間1			
No.	工種	上段:種別 下段:細別	規格	単位	数量	金額	日当り作業量	標準作業日数	雨休率考慮日数	率 (実作 業に 対する 割増 係数: 1+α)	抑制	開始	日数	班数	クリティ ガル	雨休	終了	摘要
					0		2	3	4	(5)								
					設計書数量		設計標準歩掛表から適用	roundup(①÷②,0)	roundup((3)×(5),0)	設計 標準					施工順序			
	準備工	準備工 準備工		Æ	1	0	3,273	40	40	歩掛		0	40	1	-	40	39	
1					0		1	0	0	1.80		0	0	1	Z	0	-1	
2					0		1	0	0	1.80		0	0	1	Z	0	-1	
3					0		1	0	0	1.80		0	0	1	Z	0	-1	
4					0		1	0	0	1.80		0	0	1	Z	0	-1	
5					0		1	0	0	1.80		0	0	1	Z	0	-1	
6					0		1	0	0	1.80)	0	0	1	Z	0	-1	
7					0		1	0	0	1.80		0	0	1	Z	0	-1	
8					0		1	0	0	1.80		0	0	1	Z	0	-1	
9					0		1	0	0	1.80)	0	0	1	Z	0	-1	
10					0		1	0	0	1.80)	0	0	1	Z	0	-1	
11					0		1	0	0	1.80		0	0	1	Z	0	-1	
12					0		1	0	0	1.80		0	0	1	Z	0	-1	
13					0		1	0	0	1.80)	0	0	1	Z	0	-1	
14					0		1	0	0	1.80)	0	0	1	Z	0	-1	
15					0		1	0	0	1.80		0	0	1	Z	0	-1	
16					0		1	0	0	1.80		0	0	1	Z	0	-1	
17					0		1	0	0	1.80	_	0	0	1	Z	0	-1	
18					0		1	0	0	1.80		0	0	1	Z	0	-1	
19					0		1	0	0	1.80	_	0	0	1	Z	0	-1	
20	後片付け工	後片付け工			0		1	0	0	1.80	_	0	0	1	Z	0	-1	
	18月刊7上	後片付け工 後片付け工		ЭĽ	1	0		20	20	1.00	0	0	20	1	-	20	19	

週休2日工事(現場閉所型)の発注から工事完成までの実施フロー

週休2日工事(交替制)の場合は、※1※2のとおり読み替えること。

- ※1 「現場閉所型」を「交替制」
- ※2 「現場閉所」を「技術者や技能労働者の勤務」



計画・実施工程表

現場作業着手日: 2024/7/1 , 現場作業完了日: 2024/11/8

 大力凡例

 作業日・休日
 資本
 ・ 「東京との対象外

 作業 : 作業日
 正月 : 夏季休暇 (3日間)

 正月 : 年末年始休暇 (6日間)

 休日 : 休日
 中止 : 工場製作のみを実施している期間。

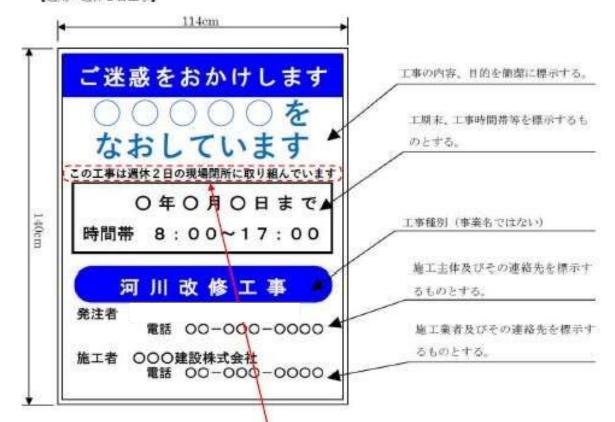
 ・ 一時中止している期間等

(参考) i	通期の現場閉	所率算定		計画	実施
対象日数	計画	実施 128	月単位の現場閉所	クリア	達成
休暇日数率	32.0%	41 32.0%	通期の現場閉所	クリア	達成

	жц	•	жц		т.	(5)	- 一時中止している期間等 率 32.0%							32.0%									, , ,											
					第1退	1						第2週	1						第3週	l					3	第4週	1						1.25	
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	1	計画		実	施
	月	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7			\Box		\top
	В	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28		休	単		木 単
	曜日	月	火	水	*	全	±	B	月	火	水	*	全	±	B	月	火	*	*	金	±	B	月	火	*	*	全	±	B	対象	暇予	位#	対明象耳	段位期
l HD	-				2000			2.0	-						-							1000				(5,00)			7.7	多	丁定	期間	8 日 名	
期間	行															海の														数	定日	間判	数E	3 判
目	*															B															数	定	*	2 定
	計画	作業	作業	作業	作業	作業	休日	休日	作業	作業	作業	作業	作業	休日	休日	休日	作業	作業	作業	作業	休日	休日	作業	作業	作業	作業	作業	休日	休日	28	9	2	28	9 達
	実施	作業	作業	作業	作業	作業	休日	休日	作業	作業	作業	作業	作業	休日	休日	休日	作業	作業	作業	作業	休日	休日	作業	作業	作業	休日	作業	作業	休日		1%	リア	32.1	
	月	7	7	1F未 7	1F来 8	1F未 8	8	8	1F未 8	1F未 8	1F来 8	1F未 8	1F未 8	8	8	8	1F未 8	1F未 8	1F未 8	1F未 8	8	8	1F未 8	1F未 8	1F未 8	8	1F未 8	1F未 8	8	32.	1.0	r	32. 1	,
	В	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25		休	単		木 単
	曜日	月	火	*	*	金	±	В	月	火	*	*	全	±	В	月	火	*	*	金	±	В	月	火	*	*	金	±	B	対	暇	位	対明	
2		"				-	-		"	^		7.	_	-		1170	^	4.	714	_		-			4.	7,1	_	_		象日		期間	象耳日名	
期間	行														山の	振替														数	日	判	数 E	日判
目	事														8	休日															数	定	娄	2 定
		18- MA	/4- MA	/L ##	/L 344	/ L 344	4-5	4.0	14- 164	15- 164	/L 344	16-106	/L 384	4.5	4.5		16-34	W /L	W /L	W (L	4.0	4.5	11-11	15- 346	16-16	16-34	/L MA	4-5	4.5	25	_	2	25 4	
	計画 実施	作業作業	作業作業	作業 作業	作業作業	作業 作業	休日	休日	作業 作業	作業 作業	作業 作業	作業 作業	作業 作業	休日	休日	休日	作業作業	夏休	夏休	夏休夏休	休日	休日	作業 作業	_		作業 作業	作業 作業	休日	休日	25 36.	9	クリ	36.0	~
	月	TF来	TF来	TF来 8	TF来 8	TF来 8	8	9	1F来 g	TF来 q	TF来 q	TF来 g	TF来 q	4	9	9	TF来 q	夕11	タ1小	タ11	9	9	TF来 g	TF来 g	TF来 q	TF来 g	TF来 q	9	9	30.	. 076	7	30.0	10 MA
	8	26	27	28	29	30	31	,	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22		休	単	t	木 単
	曜日	月	火	水	*	金	±	В	月	火	*	*	全	<u>+</u>	8	月	火	*	*	金	±	B	A	火	*	*	全	±	B	対		位		段位
3	*****	n	^	4	· ·	*	-	п	n	^	4	Α	*	-	п	п	^	4	Α	*	-	п		^	4	Α	*	-		象日	予定	期間	象月日名	以 期 間
期間	行																						敬老						秋分	数		判	数 E	
目	*																						の 日						の 日		数	定		2 定
			// WIA	// WA		11 - NIA				wie		// W/A	/1 - WIA					//_ WIA														2		_
	計画	作業		作業			-	-	作業		-	作業		休日	休日	作業	_	作業			休日	休日		作業			作業		休日	28	9	クリ	28	
	実施	作業	作業	作業	作業	作業	休日	休日	作業	作業	作業	作業	作業	休日	休日	作業	作業	作業	作業	作業	休日	休日	休日	作業	作業	作業	作業	休日	休日	32.	. 1%	7	32. 1	% PX
	月	9	9	9	9	9	q	9	9	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10		休	単	- 6	木単
	B	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	対	暇	位	対明	段位
4	曜日	月	火	水	*	金	±	B	月	火	*	*	全	±	B	月	火	*	*	金	±	B	月 2	火	*	*	金	±	B	象	予定	期間	象月日名	以 期 間
期	行	振替																					スポー							日数	日日		型 E	
間目	*	休日																					ッの							~		定		改 定
_		н																					B								Ш			
	計画	休日	作業	作業		作業	休日		作業					休日				作業			休日	休日		作業			作業	休日	休日		10	クリ	28 I	
	実施	休日	作業	作業	作業	作業	休日	休日	作業	作業	作業	作業	作業	休日	休日	作業	作業	作業	作業	作業	休日	休日	休日	作業	作業	作業	作業	休日	休日	35.	.7%	ア	35.7	% 成
	月	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	П	11	П	П	11	11	11	11	П	11	11	11	11	11	11	11	11		休	単		木 単
	B	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	対		単位	対明	
5	曜日	月	火	水	*	金	±	B	月	火	*	*	金	±	B	月	火	水	*	金	±	B	月	火	水	*	金	±	B	象	予	期	象耳	以期
期															文	振														日		間判	日名	
間目	行事														化の	振替休														数		判定	数 E	判数定
H															B	B															~`	~	Î	-
	計画	作業	作業	作業	作業	作業	休日	休日	作業	作業	作業	作業	作業	休日	休日	作業	作業	作業	作業	作業										19	4	対象	19 4	4 対象
	実施	作業	作業	作業	作業	作業	休日	休日	作業	作業	作業	作業	作業	休日	休日	作業	作業	作業	作業	作業										21.	. 1%	外	21.19	% 外
$\overline{}$		$\overline{}$								_		_	_		_	_	_	_	_	_	_	-							_					$\overline{}$

工事標示板 (作成例)

【適用: 週休2日工事】



週休2日の現場開所に取り組んでいることを標示する。

「この工事は適休2日の現場閉所に取り組んでいます」 (文字:ヒラギノ角7、色:スミ 135pt) ※もしくはそれに相当する太さ、大きさの文字